

クイックマイグレーション機能

VVAULT Ver.4.2.0以降、既存のNASやハードディスクなどを仮想ドライブに組み込まずにデータ移行が可能となる『クイックマイグレーション機能』がサポートされました。

この機能を利用すると、すでにデータが収められているNASやハードディスクを簡単に、仮想ストレージへデータ移行することができます。

ここでは「クイックマイグレーション機能」の利用方法について説明します。

ご注意

- すでに Ver.4.2.0 以前の VVAULT でアクティベーション済みの場合、VVAULT を更新してもライセンス上 [クイックマイグレーション] が [使用不可] となります。
この場合は、【VVAULT 管理者ガイド】の【ライセンスを登録/更新する】にしたがって、再度アクティベートし直してください。この操作で「クイックマイグレーション」が [使用可] となります。
- クイックマイグレーションでは、移行元となるハードディスクや NAS 内のデータは保存されますが、移行元のフォルダー構成が変更となります。

1 VVAULT 管理画面を開き、[仮想ドライブ] → [クイックマイグレーション] をクリックします。



2 右上の [ジョブ作成] ボタンをクリックします。
[クイックマイグレーション設定] 画面が表示されます



3 設定内容を入力し、[決定] ボタンをクリックします。

クイックマイグレーション - ジョブ作成

対象データの移行元パスと移行先フォルダ名を指定して決定ボタンをクリックしてください
※移行元パスに仮想ドライブ上のパスは指定しないでください

移行元パス* : ¥¥192.168.11.149¥disk

移行先フォルダ名* : ¥¥ [NAS]

エラーを無視して処理を実行する

移行元への接続

ユーザ名とパスワードを使用する

ユーザ名 : PC名(またはドメイン名)¥ユーザ名

パスワード : パスワードを表示

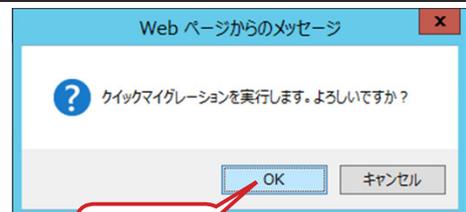
接続テスト 決定 キャンセル

①設定

②クリック

移行元パス	データを移行するNASやハードディスクなどを指定します。 物理的に接続されているハードディスクを指定する場合は、対象となるドライブまたはフォルダ名を入力します。 NASの共有フォルダを指定する場合は、NASのパスを入力します。 例) ドライブH: 全体を移行対象とする場合 H:¥ NASを移行対象としたい場合 ¥¥landisk¥disk または ¥¥192.168.1.100¥share など
移行先フォルダ名	仮想ドライブV:への移行先フォルダ名を指定します。
エラーを無視して処理を実行する	チェックをつけると、移行作業中にエラーが発生した場合でも、エラー発生した対象ファイルをスキップして処理を継続します。(エラー内容はログに記録されます。)
ユーザ名とパスワードを使用する	移行元のNASやハードディスクにアクセス権限が設定されている場合にチェックをつけ、認証情報を入力します。
ユーザ名	移行元のNASやハードディスクにアクセスするためのユーザ名を入力します。
パスワード	移行元のNASやハードディスクにアクセスするためのパスワードを入力します。
[接続テスト] ボタン	移行元ディスクに正しくアクセスできるかを確認できます。

4 [OK] ボタンをクリックします。



5 実行中のクイックマイグレーションは一覧形式で表示されます。しばらくお待ちください。
別のクイックマイグレーション実行中に、新しいジョブを作成して他のストレージを移行することもできます。移行元ストレージがたくさんある場合に便利です。



移行が完了すると、クイックマイグレーション一覧の表示が以下のように変わります。



以上でクイックマイグレーションが完了しました。
仮想ドライブ V: の指定フォルダー内に移行元のデータが登録されています。